

授業科目名 <英訳>	中国の伝統的室内空間 The Interior in the Traditional Chinese Houses			担当者氏名	人文科学研究所 助教 高井 たかね				
群	拡大群	系列	人社系	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナル
開講期	前期	受講定員	20人	配当学年	1回生	対象学生	全学向		
曜時限	木2			教室	総合研究4号館/人文科学研究所本館 セミナ ー室2(本部構内)				
キーワード	中国 / 室内空間 / 室内装飾 / 書画 / 前近代								
【授業の概要・目的】									
<p>中国の居住文化のうち、基本的には前近代を念頭においた伝統的な住居内の空間構成、家具・器物のしつらえ方、室内装飾等の概要を知る。授業の中心は、R.H. van Gulik "Chinese pictorial art (書画鑑賞彙編)" (Istituto italiano per il Medio ed Estremo Oriente, 1958. 再版: Hacker Art Books, 1981)の会読である。</p> <p>本書は中国および日本の書画表装と鑑賞に関する著作であるが、それらを掛けて鑑賞する住居の構造、室内の空間構成、しつらえ、装飾についても、序章として概説を用意しており(日本の住居に関する部分も含む)、本授業で会読するのはこの部分である。なお、著者のロバート・ハンス・ファン・ヒューリック(1910-1967)は日本、中国等に駐在して駐日大使も務めたオランダの外交官でありながら、本書のほかにも中国文化に関する多数の著作があり、また「ディー判事シリーズ」として知られる探偵小説(ハヤカワ・ミステリ等から刊行の邦訳あり)を書いた人物でもある。</p> <p>授業で主眼とするのはあくまで室内空間の諸相であるが、会読箇所では中国、あるいは日本の書画表装の概要についても述べられるので、書画芸術に興味がある学生の受講も歓迎する。</p>									
【授業計画と内容】									
2週程度、前近代中国の居住空間に関する概説をしたあと、毎回担当者を決めて会読英文テキスト"Chinese pictorial art (書画鑑賞彙編)"のうち、First Part, Chapter 1 Introductionの該当箇所を日本語訳してもらい、それを検討しつつ議論する。毎回3、4ページは読み進める予定。									
【履修制限の方法】									
受講定員を超える受講申込があった場合は無作為に抽選を行います。									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・基準】									
会読テキストの日本語訳発表と授業参加による平常点評価									
【教科書】									
会読テキスト、参考資料等はコピーを配付する									
【参考書等】									
(参考書) 授業中に紹介する									
【その他(授業外学習の指示等)】									
毎回の翻訳担当者はそのための準備が必要。担当者以外も毎週予習すること。									